

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 4 年度)

施設の名称	東大阪市立郷土博物館	指定期間	3	年度～	3	年度			
		指定の方法	複数施設を一括指定管理						
施設所管課	人権文化部 文化室 文化財課	連絡先	06-4309-3283						
設置目的	郷土の文化的遺産を公共の利用に供し、市民の文化の向上に資するため設置するもの。								
施設内容・業務内容等	東大阪市立郷土博物館の施設は、小展示室、大展示室、ロビー、事務室、収蔵庫等がある。併設施設として、山畑古墳群がある。指定管理者には施設の維持管理と展示業務や各種体験事業等活用業務を委託している。								
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会	連絡先	072-984-6341						
人員体制	正規職員	3	人	パート・アルバイト	0	人	その他	0	人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	
供用(開館)日数	264	243	231	271	休館
指定管理委託料(千円)	25,436	25,375	25,375	25,375	
利用状況指標	1 入館者数(人)	4,741	2,332	1,958	新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館。 補足説明 R2.3.2～R2.5.22 R3.4.25～R3.6.20
	2 出前等館外参加者(人)	299	12	36	
	3				

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	臨時休館も2か月ほどあったが、イベントは規模を縮小するなど工夫をし、概ね事業計画どおり実施できた。危機管理マニュアルも整備され、市民の安全確保が図られていた。ただし、仕様書のとおり、他の博物館等から史料の借用等を行う等の連携は不十分であった。
B 管理・運営能力	人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	雨漏り補修については計画的に実施しているが、倒木の撤去ができていなかった。館内の清掃等は適切に行われており、清潔な施設として保たれている。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	利用者アンケートを実施し、利用者の意見を把握できている。展示の解説文やパンフレット等、多言語の表記ができていないため、外国人利用者へのサービス向上にも対応する必要がある。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	引き続き利用者アンケート等を活用し、市民の声を積極的に反映していくよう管理運営に努めてほしい。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	施設の利用者数が目標の水準に達していない。他市の同種施設の取り組みを参考に、利用者が増えるよう魅力ある展示内容を検討してほしい。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	法令や各種規則等を理解し遵守できている。引き続き関連法規等の情報共有を組織内で行ってほしい。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定) A	新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館もあったが、イベントの規模を縮小するなど工夫し、概ね事業計画を実施できた。他団体の同種施設等を参考に、文化財資料の借用等を含め入館者数を確保する方策を検討し、市民のニーズに合わせた展示を行ってほしい。また、外国人利用者にも対応した取り組みも必要である。